

平成23年行政事業レビューシート(外務省)

事業名	在外邦人の安全に係る関係省庁連絡会議	担当部局庁	領事局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度開始	担当課室	海外邦人安全課	課長 一方井 克哉				
会計区分	一般会計	施策名	IV-2 海外邦人の安全確保に向けた取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条9号	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海外で緊急事態が発生し在外邦人の退避を政府が支援する必要があるが生じた場合の対応について関係省庁間で確認・調整し、また防衛省の訓練に参加して在外邦人輸送における外務省の役割を実地に確認し、更に、関係省庁間会議の成果を在外公館との間で共有することにより、実際の在外邦人退避の際のオペレーションを安全確実なものとするのが目的。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	海外で緊急事態が発生し在外邦人が退避する必要がある生じ、かつ定期商用便の運航が停止した等の場合には、政府専用機を含む自衛隊機等の派遣が検討されるが、友好国からの協力を含め在外邦人の安全な退避に関する関係省庁間の連絡・調整の場として会議を開催する。また、防衛省が国内の自衛隊基地で実施している在外邦人等輸送訓練に職員を参加させ、在外邦人輸送における外務省の役割を邦人保護の観点から確認する。更に、関係省庁の会議又は自衛隊訓練参加において得られた成果を関係在外公館への出張を通じて共有する。なおこれら会議又は訓練には邦人退避計画の整備が特に重要と考えられる公館からも要すれば館員を出張させ参加させる。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	0	0	0		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	—	0.6	0.7	0.8	0.6	
	執行額		—	0.2	0.05			
	執行率(%)		—	31.8	8.2			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	目標:防衛省及び関係省庁機関等との連携強化。 実績:自衛隊が実施した訓練への参加。(訓練参加者数) 邦人退避計画の整備が特に重要と考えられる在外公館との成果共有及び調整等は、中東における一連の政変の影響を受け実施できず。		成果実績	人	—	5	1	4
			達成度	%	—	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	自衛隊が実施した、平成22年度在外邦人等輸送協同訓練(小牧基地)に参加。(出張回数)		活動実績 (当初見込み)	回	—	2	1	2
単位当たりコスト	自衛隊訓練への参加 (13,160円/1人/1回)		算出根拠	担当官1人当たりの愛知・小牧基地への1泊2日の出張の日当・宿泊費。航空賃は今回、自衛隊機により移動したので不要。(原則、役割分担の関係から複数人の参加が必要。また年により訓練実施場所が異なるが、最も蓋然性の高い福岡・築城基地での参加を想定し予算要求。)				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	会議開催費(コーヒー代)	38	35	単価表のコーヒー単価削減による。				
	職員旅費(内国)	180	180	—				
	職員旅費(外国)	272	251	単価表の航空賃(東京ーソウル往復)単価削減による				
	在外職員旅費	263	143	航空賃(ソウルー東京往復)見積額の減少による。				
	計	753	609					

事業所管部局による点検			
	評 価	項 目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	海外で発生する緊急事態の際、邦人の安全確保のため、自衛隊訓練参加、及び、平素から準備を怠らないことが重要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	多くの国民が海外へ渡航する機会が増加している昨今、国民が緊急事態に巻き込まれる可能性が高まっており、実際に巻き込まれるケースも多々ある。このため、政府として平素からの緊急事態に備えた危機管理体制の整備を行うことが非常に重要となっている。また、緊急事態の際の政府に対する国民の期待も非常に高まっており、これら国民の期待に応えるためにも、本案件は継続することが望ましい。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		単価見直しによる減	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(単価見直しによる減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)(単位:百万円)

外務省
0.05百万円
海外邦人の安全確保

出張者
4名
0.05百万円

[illegible]

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	邦人援護業務	0.03		
2	出張者B	自衛隊訓練参加	0.01		
3	出張者C	邦人援護業務	0.01		
4	出張者D	邦人援護業務	0.01		
5					
6					
7					
8					
9					
10					